

今夏における当社の電力需要抑制への対応

今夏の当社の熱供給につきましては、「蓄熱システムの活用」等の節電対策により、電気事業法第27条による「電気の使用制限」（昨年度最大使用電力の15%削減）の範囲内で熱を製造・供給し、お客様への供給制限を行うことなく通常通りの供給を行います。

※電力需給の状況変化などの特段の前提条件の変動により、やむを得ず熱供給制限に至る恐れが生じた場合には、お客様には速やかにご連絡いたします。

1. 当社の節電対策（※イメージ図参照）

【対策1：蓄熱システムの活用】

- 当社の蓄熱システムを最大限活用し、夜間電力により製造した冷水を蓄熱槽に蓄熱します。その熱は、電力需要が増大する昼間時間帯に放熱し電力の削減を行います。

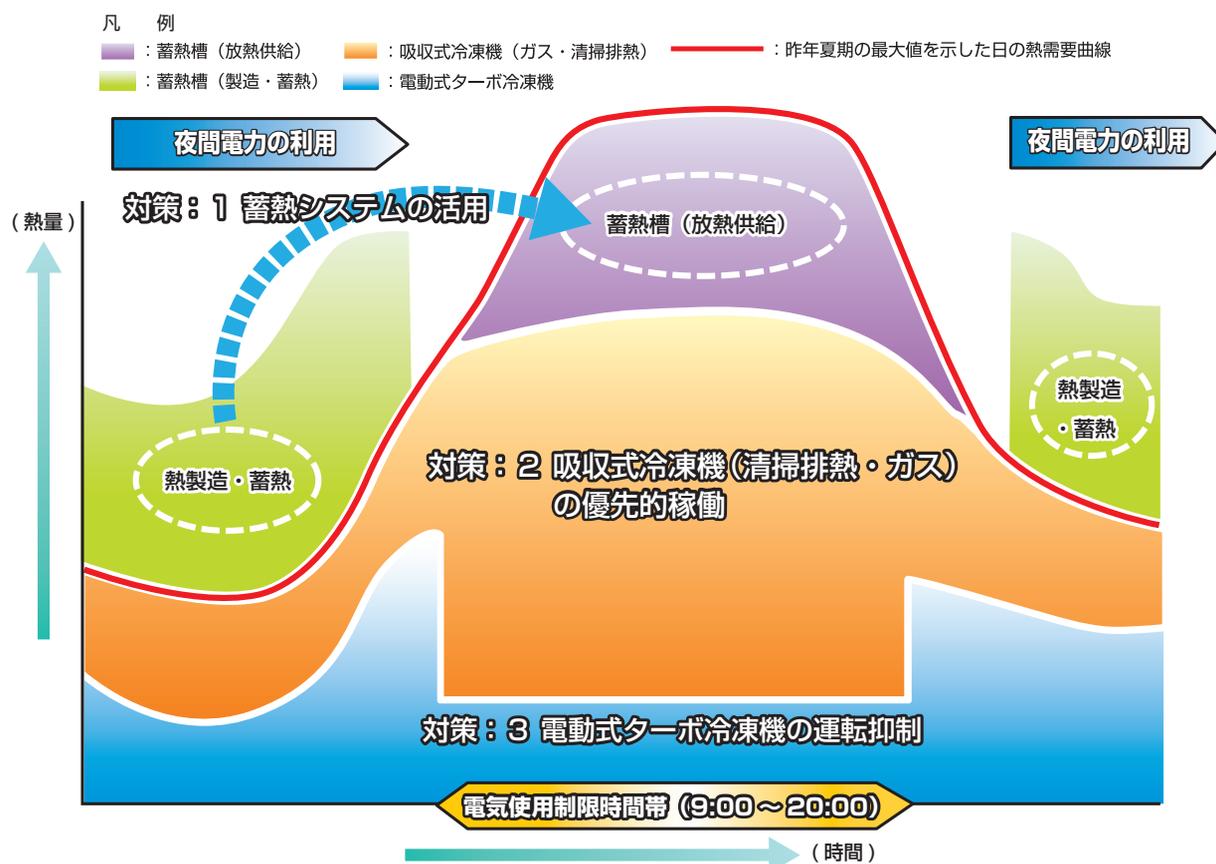
【対策2：吸収式冷凍機の主体的運用】

- ガス・清掃排熱を利用した、電力消費の少ない吸収式冷凍機を昼間時に優先的に稼働し節電を行います。

【対策3：電動ターボ冷凍機の運転抑制】

- 電気の使用制限時間帯では、電動式ターボ冷凍機の利用を極力抑制いたします。

15% 節電時の熱供給システム稼働状況 <イメージ図>



2. 電気使用制限における当社事業への影響

この度、当社の電気使用制限への対応をお客様にお知らせした際には、「熱供給の制限が行われないならば、店舗等の一部営業自粛を行わないで済むことや節電対策への取り組みがしやすくなった」との声をいただくなど地域冷暖房に対し再認識していただきました。

当社の熱製造は、夜間電力、ガス、清掃排熱等のエネルギーの活用とともに電動式ターボ冷凍機や吸収式冷凍機、ボイラー、蓄熱槽等のベストミックスによる効率運用を実施し熱を供給しております。

今回の電気使用制限に伴いコストの増加は避けられませんが、今後とも、地域のインフラを担う役割を自覚し、より一層の効率的なシステム運用に努め、安定した熱供給に努めてまいります。